



## 2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月12日

上場会社名 Retty株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7356 URL http://corp.retty.me/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 和也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部門担 当 (氏名) 土谷 祐三郎 TEL 03(6852)1002  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の業績 (2020年10月1日~2020年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	521	—	△3	—	△16	—	△14	—
2020年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△1.31	—
2020年9月期第1四半期	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,646	1,418	53.6
2020年9月期	1,533	429	28.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 1,418百万円 2020年9月期 429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,270	2.5	50	—	40	—	140	—	12.26
	~2,380	~7.4	~200	—	~190	—	~340	—	~29.79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年9月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	11,537,044株	2020年9月期	10,612,504株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	92株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	11,055,196株	2020年9月期1Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く事業環境は、消費税増税直後においてインターネット広告市場全体が一時的な需要の落ち込みを見せたものの、その後は徐々に回復傾向にあり、前事業年度に引き続き堅調に推移しておりました。しかしながら、2019年末頃のCOVID-19発生、2020年4月における感染拡大及び拡大防止のための緊急事態宣言の発令により我が国経済は大きな打撃を受けております。緊急事態宣言が2020年5月下旬に解除されて以降、一定の回復の兆しは見せているものの依然として先行きは不透明な状態にあります。

上記の緊急事態宣言期間中、外出の自粛が要請されたことにより、当社の顧客である飲食店の業績が大幅に悪化したこと等から、当社の経営成績にも影響が生じております。

このような状況下においても、当社の運営する実名型グルメプラットフォーム「Retty」では、より多くの飲食店や広告主を選ばれるサービスとなるために、飲食店舗の集客効果増進のためのインターネット予約機能の強化や、飲食店の業績回復に資するための各種のキャンペーン施策を実施してまいりました。

FRM (Fan Relationship Managementの略称) については、COVID-19の影響による販売代理店の休業等の影響により、前事業年度中である2020年5月から6月(2020年4月及び5月の営業活動結果)にかけては有料店舗の月平均獲得店舗数は300件程度に落ち込みましたが、7月以降は順調に獲得数が回復しており、当第1四半期累計期間である2020年10月から12月においては月平均獲得数が約630件となりました。一方で、2020年10月において大手飲食法人向けトライアル契約(注1)のイレギュラー解約(注2)が約500件発生したことにより当第1四半期会計期間末における保有店舗数は9,586件となりました。なお、トライアル契約を除いた保有店舗数は前事業年度末時点での7,964件から当第1四半期会計期間末時点では8,397件へと増加しております。広告については、2020年4月に発令された緊急事態宣言以降、広告単価の下落による影響が引き続き生じております。一方で、当第1四半期累計期間において、Go To Eatキャンペーンが実施されたこと等によりユーザー数は回復傾向となっております。コンテンツソリューションについては、「Retty」に蓄積された食領域のビッグデータ連携基盤「Food Data Platform」の提供を開始しておりますが、COVID-19の影響により、新たなクライアントの獲得は限定的となっております。上記の結果として、当第1四半期累計期間における売上高は521百万円となりました。

一方、費用面では、サーバー費用を始めとした各種コストの抑制施策を、さらに引き締めた水準で実施し、経営効率の最適化を進めました。その結果、売上原価は160百万円、販売費及び一般管理費は365百万円となりました。

また、2020年10月に東証マザーズへ上場したことに伴う新規株式発行に係る株式交付費、及び支払利息により営業外費用14百万円を計上しております。

上記の結果として、当第1四半期累計期間における営業損失は3百万円、経常損失は16百万円、四半期純損失は14百万円となりました。なお、2020年12月の実績については、上述の通りトライアル契約を除いた保有店舗数が当第1四半期会計期間を通じて順調に増加したことにより、単月営業黒字となりました。

当社は実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(注1) 大手飲食法人向けに多数の店舗を安価かつ一括で受注する契約形態

(注2) 閉店などのイレギュラーな要因によって契約期間の満期を迎える前に生じた解約

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,253百万円となり、前事業年度末に比べ1,118百万円増加いたしました。これは主に、2020年10月に東証マザーズへ上場したことに伴う新規株式の発行や、オーバーアロットメントによる売出しに関連した大和証券株式会社への第三者割当増資、及び銀行借入の実施によって現金及び預金が1,123百万円増加したことによるものです。また、当第1四半期会計期間末における固定資産は392百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に、販売代理店に対する販売手数料の長期前払が縮小したことにより長期前払費用が5百万円減少したことによるものです。

上記の結果として、総資産は2,646百万円となり、前事業年度末に比べ1,112百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は896百万円となり、前事業年度末に比べ141百万円増加いたしました。これは主に、Go To Eatキャンペーンのクーポン支払原資の増加により、預り金が250百万円増加したこと、及び前年度に計上したGo To Eatキャンペーンのプロモーション費用や営業代理店への体制構築費用の支払いにより、未払金が148百万円減少したことによるものです。また、当第1四半期会計期間末における固定負債は331百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは、長期借入金の内、一部が1年内返済予定の長期借入金へ振り替えられたことにより、長期借入金が17百万円減少したことによるものです。

上記の結果として、総負債は1,228百万円となり、前事業年度末に比べ123百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,418百万円となり、前事業年度末に比べ988百万円増加いたしました。これは主に、上述記載の新規株式の発行、及び第三者割当増資により資本金が501百万円、資本準備金が501百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日に「2020年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。通期の業績予想にはCOVID-19による影響を織り込んでおり、当第1四半期累計期間にもCOVID-19による影響はございましたが、現時点では業績予想の範囲内であると考えております。しかしながら不確定要素が多く存在することから、今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。なお、当該業績予想については、2021年9月期を通してCOVID-19の影響により著しく停滞している社会経済活動が緩やかに回復していくことを前提としております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	459,205	1,582,313
売掛金	244,938	255,937
前払費用	393,856	438,611
その他	74,238	11,953
貸倒引当金	△37,417	△35,126
流動資産合計	1,134,820	2,253,689
固定資産		
有形固定資産		
建物	114,520	114,520
減価償却累計額	△15,804	△17,348
建物（純額）	98,715	97,171
工具、器具及び備品	39,038	37,017
減価償却累計額	△28,189	△27,030
工具、器具及び備品（純額）	10,849	9,987
有形固定資産合計	109,564	107,158
無形固定資産		
ソフトウェア	3,496	3,067
無形固定資産合計	3,496	3,067
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,825	1,805
長期前払費用	115,623	109,629
敷金及び保証金	170,318	169,929
その他	10	2,883
貸倒引当金	△1,825	△1,665
投資その他の資産合計	285,951	282,584
固定資産合計	399,011	392,809
資産合計	1,533,832	2,646,499

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	346,000	359,000
1年内返済予定の長期借入金	44,664	58,661
未払金	201,791	53,269
未払費用	20,531	55,510
未払法人税等	530	6,967
預り金	16,652	266,809
前受収益	42,151	40,908
賞与引当金	68,882	33,010
その他	14,431	22,719
流動負債合計	755,634	896,856
固定負債		
長期借入金	348,668	331,337
固定負債合計	348,668	331,337
負債合計	1,104,302	1,228,193
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	95,000	596,724
資本剰余金	658,279	1,160,004
利益剰余金	△324,030	△338,547
自己株式	—	△155
株主資本合計	429,249	1,418,026
新株予約権	280	280
純資産合計	429,529	1,418,306
負債純資産合計	1,533,832	2,646,499

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	521,850
売上原価	160,132
売上総利益	361,718
販売費及び一般管理費	365,185
営業損失(△)	△3,467
営業外収益	
受取利息	3
助成金収入	688
償却債権取立益	30
その他	5
営業外収益合計	727
営業外費用	
支払利息	2,596
株式交付費	11,050
為替差損	431
営業外費用合計	14,078
経常損失(△)	△16,818
税引前四半期純損失(△)	△16,818
法人税等	△2,301
四半期純損失(△)	△14,516



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月30日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年10月29日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行200,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ108,560千円増加しております。

また、2020年12月2日を払込期日とする第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当）による新株式の発行722,700株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ392,281千円増加しております。

この結果、当第1四半期累計期間における新株予約権の行使による新株式の発行を含めて、当第1四半期会計期間末において資本金が596,724千円、資本剰余金が1,160,004千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関して)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症に関して）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、実名型グルメプラットフォーム「Retty」運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。